

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
1	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ	1790-00	教育委員会活動 運営事務	教育行政の円滑な運 営と教育委員としての研 鑽を図る	1,762	1,741	△ 21	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に定める職務について、同法第26条及びむかわ町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の規定に基づき、定例会を12回、臨時会を3回開催し、議案等132件を審議した。また、町立学校全校を訪問し、各学校の特色ある教育活動の取り組みや課題等について意見交換を実施した。 今後、よりよい教育環境の提供や、今日的な教育課題の解決に向けて、教育委員として更に研修を深めていく必要がある。	B維持	
2	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	1810-00	就学指導事務	心身に障害があり、教 育上特別な取扱いを要 する児童生徒に対し、適 正な就学指導を行うため の就学指導委員会の設 置及び活動	12	135	123	特別支援教育の充実及び本町の児童生徒の適正な就学に向けて、引き続き細かな取り組みを続けていく必要がある。 就学指導委員会から教育支援会議への移行を図っていく。	B維持	
3	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	1830-00	教職員福利厚生 事務	職員の健康保持のため 学校保健の充実を図る	858	897	39	学校保健安全法第15条の定めにより教職員の定期健康診断、血液検査、人間ドックを実施。 教育課程以外の活動(PTA活動、学級活動、部活など課外活動)における事故等の補償をし、教職員の負担軽減に努めている。	B維持	
4	本 庁 生涯学習課 学校教育学 校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	1840-00	高等学校振興対 策事業	鶴川高等学校並びに 穂別高等学校の存続対 策及び体育・文化活動 の振興	15,378	14,188	△ 1,190	鶴川高校部活動等の支援や通学バスの運行、穂別高校の学校案内(札幌・千歳・苫小牧等の中学校への訪問)は、高校存続問題にも有効なものとなっている。 今後も両高等学校の生徒の確保、存続を図るため必要な事業である。	B維持	
5	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	1850-00	魅力ある教育推 進事業	学ぶ意欲を高める魅力 ある学校づくりを推進す る	3,360	2,811	△ 549	鶴川中学校と鶴川高等学校との連携型中高一貫教育は、生徒の興味関心などに応じた多様な学習形態が定着し、特色ある教育活動が展開されている。今後はキャリア学習とボランティア活動を掲げ、未来を担う人材を育成するため一層の進捗と教育内容の充実に向けた取組を行うため支援が求められる。 鶴川中学校はスクールカウンセラー(道費負担)、穂別中学校は心の相談員を配置している。児童生徒をとりまく環境等の変化から今後も引き続き継続する必要がある。 スクールカウンセラーにおいては中学校だけでなく、小学校の児童に対しても必要がある。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
6	総合支所 教育振興室	1855-00	山村留学支援事業	富内小学校への山村留学生を迎え入れるため、必要な支援を行う	453	788	335	富内小学校の存続、地域の活性化の両面から引き続き留学児童の受け入れていく。更に、学校(複式学級、特別支援)、地域(行事への参加)、教育委員会(住宅の確保、募集方法)などの受け入れ体制の充実を図っていく必要がある。	B維持	
7	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ	1856-00	鈴木章記念事業	ノーベル化学賞を受賞した鈴木章特別名誉町民の功績を記念し、町内の児童及び生徒の学習意欲を増進する事業を推進する	3,089	3,152	63	鈴木章先生の功績を記念して実施した事業である。特に中高生海外派遣事業は、予算の範囲内で多くの中高生が参加できるよう基金の充実が必要である。大学等進学奨励事業は、町内の高等学校に在籍するむかわ町民の子弟に対して、勉学の助として奨学金を給付し有用な人材を育成するため必要な事業である。	B維持	
8	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1860-00	児童生徒保健対策等事務	就学前児童及び児童生徒の健康保持のため学校保健の充実を図る	1,492	1,393	△ 99	学校保健安全法の定めにより、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健康診断を定期的を実施するとともに、感染症の予防や感染症による学級閉鎖への助言をなど、学校教育の円滑な実施を図っている。また、就学前の児童の健康診断を行い、結果に基づき、必要に応じて保護者に治療を勧告するなど就学に備えている。 学校環境衛生検査は、学校環境衛生の基準に基づき換気、保湿、採光、照明、騒音等の学校環境の検査を行い、児童生徒等の健康増進を図っている。定期的に実施していく必要がある。	B維持	
9	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1880-00	教職員住宅等維持管理事務	むかわ町立学校に勤務する教職員の住宅の維持管理	8,997	6,967	△ 2,030	児童生徒数の減少により教職員の定数も減少しており空き住宅が増えてきているため、可能なものについては普通財産に所管換えし、有効活用を図ることが望ましいと考える。 今後も適切な維持管理に努める必要がある。	B維持	
10	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ	1900-00	教職員住宅建設 割賦償還金	教職員住宅の整備に係る償還金及び負担金	11,144	11,053	△ 91	教職員を確保し、またその能力を発揮する上で住環境の整備は必要なことから、計画的な教職員住宅の整備を進める必要がある。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
11	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1910-00	教育団体活動等 事業助成事業	就学前教育の奨励、教育活動を補完する団体への活動を支援し、教職員の資質の向上と教育環境整備を図る	11,071	10,220	△ 851	町内唯一の幼稚園は、入園する園児数が減少し、経営健全化に向けた取り組みが求められている。幼児教育の一翼を担っている私立幼稚園の運営に対して支援は必要である。学校教育では、教員の指導力や人間性が子どもに与える影響は極めて大きいことから、引き続き町教育振興会などへの支援を行い、研修意欲と実践の力量の向上を図る必要がある。	B維持	H23より認定子ども園へ
12	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1920-00	英語指導助手配置事業	小・中学校における英語活動並びに国際理解教育の充実を図るため、小・中学校へ外国語(英語)指導助手を派遣する	9,603	10,591	988	国際化の一層の進展が予想され、英語によるコミュニケーション能力や国際理解の基礎を児童生徒に身に付けさせることは重要な課題であり、小学校における英語を中心とした外国語活動が22年度から始まり、本事業はますます必要である。26年度両地区ともに英語指導助手が入れ替わった。	B維持	
13	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1930-00	通学バス運行事業	町内統合校などの児童生徒の通学負担を軽減するため通学バスを運行するとともに、学校行事等を円滑に行うため多目的バスを運行する	41,491	43,052	1,561	学校の統廃合により、または従来から遠隔地からの通学者が多いため、通学バスは必要であるが、児童生徒数の推移により路線等の見直しは随時必要である。校外学習等に要する貸し切りバスや多目的バスの運行は教育課程の一環であることから、実施に当たっての工夫は必要であるものの今後とも不可欠の事業である。	B維持	
14	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1950-00	小学校運営事務	小学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	50,605	49,312	△ 1,293	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。特別支援教育を必要とする児童が増えつつあり、特別支援教育の充実のため、学習支援員や介助員の配置を行い、教育内容の充実に努める必要がある。	B維持	
15	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1960-00	小学校施設管理事務	学校施設、設備の維持管理を行い、教育環境の維持及び義務教育の円滑な運営と児童の安全性の確保を図る	27,742	24,101	△ 3,641	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、より効率的・効果的な改善が必要である。学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
16	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1970-00	小学校施設整備 事業	学校施設、設備の整備 を行い、教育環境の改 善及び義務教育の円滑 な運営と児童の安全性 の確保を図る	3,336	3,032	△ 304	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機、印刷機はリース契約期間が満了となっても、できるだけ使用し、経費の節減を図っている。	B維持	
17	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1980-00	小学校保健・安全 対策事務	児童の安全確保と、健 康の保持増進を図り、学 校教育の円滑な実施を 図る	2,634	2,457	△ 177	児童の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、新入学児童の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
18	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1990-00	小学校就学援助 事業	経済的理由によって就 学困難な児童の保護者 及び特別支援学級に就 学する児童の保護者に 対して学用品等を援助 することにより、義務教育 の円滑な実施を図る	1,546	1,422	△ 124	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
19	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2000-00	小学校教材備 品等整備事業	小学校教材備品等を 整備し、義務教育の円 滑な実施を図る	6,723	3,799	△ 2,924	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
20	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2010-00	小学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進 展に対応する人材を育 成するため、児童に対す る情報教育の充実を図 るとともに、教職員用コン ピュータを整備すること により学校事務の効率化 を図る	3,430	5,031	1,601	児童に対する情報教育の充実並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していく必要がある。	A拡大	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
21	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2015-00	小学校建設事業	学校施設・設備整備等により、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る。また、子どもたちに「食の正しい知識と望ましい食習慣」を身に付けさせることを目的に学校給食の早期実施を図る。	24,626	56,127	31,501	学校教育において校舎をはじめ施設整備の果たす役割は、教育効果を左右する重要な要件となっている。 老朽化が著しい鶴川中央小学校及び新設の学校給食施設は、鶴川中央小学校校舎改築検討委員会において改築内容等に係る意見交換を行いながら設計に取り組んでいる。	A拡大	H27～H28年度 鶴川中央小学校 改築 学校給食センター 鶴川地区・穂別地区 新築
22	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2020-00	中学校運営事務	中学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	20,033	20,618	585	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。	B維持	
23	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2030-00	中学校施設管理事務	学校施設、設備の維持管理を行い、教育環境の維持及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る	6,295	7,930	1,635	学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
24	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2040-00	中学校施設整備事業	学校施設、設備の整備を行い、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る	2,542	1,613	△ 929	コピー機・印刷機は、リース契約期間が満了となっても、できるだけ継続して使用し、経費の節減を図っている。	B維持	
25	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2060-00	中学校保健・安全対策事務	生徒の安全確保と、健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る	1,442	1,276	△ 166	生徒の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、女子生徒の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
26	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2070-00	中学校教材備品 等整備事業	中学校教材備品等を 整備し、義務教育の円 滑な実施を図る	4,726	3,370	△ 1,356	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり、重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
27	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2080-00	中学校就学援助 事業	経済的理由によって就 学困難な生徒の保護 者、特別支援学級に就 学する生徒の保護者に 対して学用品等を援助 することにより、義務教育 の円滑な実施を図る	2,202	2,090	△ 112	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
28	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2090-00	中学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進 展に対応する人材を育 成するため、生徒に対す る情報教育の充実を図 るとともに、教職員用コン ピュータを整備すること により学校事務の効率化 を図る	1,438	3,930	2,492	生徒に対する情報教育の充実、並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要である。	A拡大	
29	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2120-00	社会教育委員活 動運営事務	教育委員会が行う社会 教育計画の立案や社会 教育事業に関し助言す るための社会教育委員 の活動経費	636	144	△ 492	社会教育委員の役割は、住民ニーズの多様化する中で行革効果を求められる厳しい時代にあつて、進むべき各種方策の方向性を定めていく役割があり、合併時に策定された教育目標に基づく社会教育振興計画の策定を行うなど成果を示している。	B維持	
30	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2130-00	社会教育推進事 務	社会教育行政を推進 するための一般事務経 費	563	1,044	481	社会教育事業等を推進するため、各種研修機会への派遣や事業打ち合わせ・情報交換を行うために職員を派遣している。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
31	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2140-00	社会教育団体等 活動費助成事業	社会教育関係団体に 財政支援を行い、活発な 活動を促す	3,172	3,232	60	社会教育団体の自主的活動を支援することで、文化・レク活動が有意に展開されてきている。合併後各団体が統合してきたが、順調な運営をするために今後も支援が必要である。 「行革削減目標(H18～22年度)により、30%の削減が行われたが、今後の各種活動には創意工夫が必要である。	B維持	
32	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2150-00	生涯学習基金活 用事業	文化、スポーツ及び社会活動など生涯学習意欲に応える費用に充てるために設置された「むかわ町生涯学習推進基金」の有効な活用を図る	3,257	3,185	△ 72	町民が日常の活動成果として、地域を代表して各種大会に出場する場合に派遣事業としてかかる経費(交通費、宿泊料等)の負担軽減を図ることにより、町外での活躍の場を確保し、練習成果の発揮とより高度なレベルの体験、交流が促進され、競技や文化のスキル・精神力アップに有効である。 その他各種研修、人材養成、交流の場へ派遣することにより、幅広い視野で活躍できる人材を養成することとなり、まちづくりの推進に顕著な効果が期待される。 本町で開催する事業等に助成することにより、普段なかなか触れる機会の少ない、文化・スポーツ事業を身近に鑑賞できる機会の確保につながり、地域全体の文化レベルの向上につながる展開が期待できる。	B維持	
33	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2170-00	公民館活動一般 事務	生涯学習推進アドバイザーを置き、生涯学習の推進を図る いじめ等の相談活動により児童生徒の健全育成を図る	6,345	7,360	1,015	教育一般に関し、豊かな識見を有し、且つ、生涯学習に関する指導技術を必要とする事務事業であり、生涯学習アドバイザーの配置を行っている。 特に子どもに関する事業(わんぱく、放課後子ども教室、学校地域支援)、高齢者への指導事業などで、各種企画進行(コーディネート)する役割を持っている。	B維持	
34	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2180-00	公民館事業	生涯各期の課題に即した生涯学習の機会の提供を行うとともに、学習成果の還元を推進する。また、子どもたちの体験活動等を行い健全な育成を図る	2,288	2,617	329	公民館事業について、事業の実施毎に評価(①前回の実施に対する課題の整理 ②住民のニーズ点検 ③今後の動向を踏まえての必要性)を実施している。これらを分析して、事業の優先度を位置づけし、今後の方向を検討している。 広範多岐にわたるため事業の数が多く、組合せなど工夫も必要。	B維持	
35	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 穂別図書館	2200-01 2200-02	図書館等管理運 営事務	町民の教育と文化の向上を図るため設置されている図書館(図書室)の管理運営	5,737	6,319	582	図書館は、町民への情報提供手段として重要な役割を果たしてきてる。今後さらなる町民の学習要求に応えるため、蔵書の拡大と移動図書館の整備などが必要である。合併によりサービス対象人口が拡大したこともあり、図書館の情報提供機能を強化し、町民の学習活動への支援と、地域の活性化に向けたサービスの展開が求められる。	A拡大	図書館ネットワーク化

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
36	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2210-00	生涯学習センター管理運営事務	町民の学習機会の充実と文化及びスポーツ活動の場所の提供並びに町外の住民との交流の場として設置されている生涯学習センター(報徳館)の管理運営	1,921	1,932	11	文化・スポーツ関係の合宿施設として利用されている。平時は無人であるが、使用時には管理人の常駐・清掃を委託している。 合宿誘致に向けた施設整備について、どこまで進めるべきか課題となっている。	B維持	
37	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 01に統合	2220-00	文化財等保護事業	町の重要な文化財等の保存及び活用のため必要な措置を講じ、町民文化の継承と向上を図る	5,878	6,168	290	適正な文化財保護・保存に努めている。今後は、郷土資料展示、埋蔵文化財の調整に向けた専門担当者の確保及び文化財と一般町民とのふれあいの機会・場の創出が課題。	A拡大	
38	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2230-00	学習交流センター管理運営事務	学習機会の拡充と生活文化の向上を目的として広く地域住民の文化活動の促進に寄与するため設置した学習交流センター「まなぶ館」の維持管理を行う	1,298	1,414	116	学習機会の拡充や生活文化の向上に寄与することができた。 施設の改修とバリアフリー化し、より多くの方に利用頂ける施設とした。	B維持	
39	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2240-00	青少年健全育成等推進事業	次代を担う青少年の健全育成、指導、保護を行うため、家庭・学校・地域社会や関係機関との連携強化に努めながら各種事業を進める	1,957	4,230	2,273	青年団活動については、公民館事業「ゆめ育事業」の自主的な活動をするほか、会員相互の交流や地域での活動を行っており、「まちづくり」を担う次代の育成の面での期待が大きい。 成人式の開催日については、対象者が参加しやすい日取り(現況通り)、成人の日に併せる(合同開催または各地区開催)など検討しH25成人式については両地区統合と決定した。 少年の主張大会については、主催(教育委員会)実施主体(運営委員会)と役割分担する中で実施している。 読書感想文コンクールについては、青少年健全育成委員会が主体となり実施。社会教育研究大会の場において表彰式を実施した。 青少年健全育成委員会は3回開催し、青少年教育についての有効な方策などについて議論・提言頂いている。	B維持	
40	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2250-00	鵜川高等学校生徒寮管理運営事業	鵜川高等学校に在籍する生徒及びスポーツ等で合宿する青少年等に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の保持増進及び青少年の健全な育成に寄与するために設置した生徒寮の管理運営	14,174	9,792	△ 4,382	寮生は全員野球部に所属しており、鵜川高等学校の存続及び硬式野球部の活躍に大きく寄与しており、これまで3回甲子園に出場するなど町の自慢として事業の継続が必要である。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
41	総合支所 教育振興室	2260-00	穂星寮管理運営 事務	就学のために来町する 青少年に寄宿の便を与 え、もって学力の向上、 健康の増進及び子弟の 育成に寄与するため設 置された穂別穂星寮の 管理運営	28,703	28,939	236	寮生は、親元から離れ環境を変え現管理体制の中で有意義な寮生活を送っており、穂別 高校存続にも寄与している。今後もこの事業の継続が必要である。	B維持	
42	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2265-00	青少年健全育成 施設整備事業	鶴川高等学校生徒の 耐震化を図る	2,048	20,952	18,904	鶴川高等学校生徒寮の耐震化を図ったことにより、施設の長寿命化にも効果があり今後適 切な維持管理が必要である。	E終了	
43	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興室	970-01 970-02	児童館管理運営 事務	放課後児童に適切な 遊び、及び生活の場を 与え、健全な育成を図る	20,152	18,947	△ 1,205	核家族化、共稼ぎ世帯の増加により、放課後児童の健全育成についてニーズは高まる一 方である。 また、特別支援学級児童及びこれに準ずる児童数も増加傾向にあり、保護者としてはでき るだけ多くの児童の中で成長させたいという意向が強まってきており、きめ細かな連絡体制を必要 とするなど、運営の困難さは増している。 鶴川地区は施設の老朽化のため、児童館の改築が求められており、穂別地区では狭隘化 のため、今後適正な規模で事業運営ができるよう環境整備が必要となってくる。 また、小規模校での対策も求められており、今後の検討課題となっている。	A拡大	H22年10月児童館 (旧寿の家)の改 修移設、中央小学 校改築時の児童 館整備について検 討中。
44	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2266-00	放課後子どもセン ター整備事業	鶴川中央小学校敷地内 に放課後児童クラブ、放 課後こども教室を一体的 に運営する放課後こども センターを整備する。	9,450	209,304	199,854	施設が完成し木材をふんだんに使われ、広い空間が確保された。今後は運営が子育て支 援Gとなるが、当初からの目的であった。放課後児童クラブ、放課後こども教室一体とした運 営が課題である。全児童が放課後一度放課後子どもセンターに立ち寄り、学習や体験型メ ニューを行った後帰宅するような運営が望まれる。	E終了	
45	総合支所 穂別博物館	2270-00	博物館管理運営 事務	自然及び人文に関す る科学について、資料を 収集し、保管し、展示す るとともに、その調査研 究及び普及指導を行 い、町民の教養、文化の 向上に寄与する	26,447	61,122	34,675	本年も当館の活動の中心である自然史系資料(化石・地質)を重点的に収集保存した。穂 別産恐竜化石の現地調査を実施し、発掘調査の準備を進めた。 モササウルス新規標本は産出部位のレプリカを作成。穂別産長頸竜(クビナガリュウ)化石 の更なる調査とクリーニング作業が進められた。稲里化石の発掘に向けた取組みが必要であ る。 化石採集会や化石体験コーナーを実施し、化石に関する知識の普及や当館の宣伝に努め た。 町内学校による利用は一定数あり、当町の特色である化石の学習に協力ができた。 広報誌ホッピーだよりを毎月発行し、町内の公共機関や学校等に配布、町のホームページ や町民ポータルサイトPOMUの情報も随時更新するなど様々な方法で積極的に情報の発信 を図ってきた。	A拡大	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
46	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2290-00	スポーツ推進委員活動運営事務	スポーツ・レクリエーションの普及及び振興	771	1,060	289	子どもの体力向上や高齢化における、健康社会の実現に向けて、「スポーツ推進委員」の役割は、一層重要になる。 総合型地域スポーツクラブへの継続支援と地域の拡大(育成)、生涯スポーツのメニュー作成、関係機関・団体等との連携など多岐にわたり任務と力量が必要とされる。そのため積極的に研修会等に参加し指導者としての豊富な知識を得ることが重要と考える。 スポーツ振興法からスポーツ基本法への50年ぶりの法改正が行われ、H24からスポーツ推進委員に衣替えが行われ、心機一転、新たな展開が期待されている。	B維持	
47	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2300-00	町民体力づくり事業	町民の健康や体力の増進を基本としたスポーツの普及啓発などスポーツの振興を図る	323	286	△ 37	各種事業の実施により、町民がスポーツに親しむ機会を提供し、体力の向上に効果をあげている。 また、小学校のスピードスケート教室については、正しい知識と技術を教示することから、講師の派遣は必要であり、例年要望も多いことから継続している。	B維持	
48	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2310-00	スポーツ団体等活動費助成事業	スポーツ団体等の支援をすることにより、町民の交流と連帯を養い且つ、スポーツへの参加意欲を高め、心身の健全な発展と明るく豊かな地域づくりに資する	3,984	1,825	△ 2,159	社会体育関係団体に補助金等を交付することにより、団体の財政面を支援し、町民主体によるスポーツ活動の奨励を行った。各団体において更に多くの事業を展開してもらうように助言や支援を行う必要がある。 「スポーツ振興事業」「ビーチバレー大会」等は町が委託(支援)する事業として、主体的に(自立)実施するまでにはやや暫く支援が必要と思われる。	B維持	
49	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2320-00	学校開放事業	コミュニティ・スポーツの推進を図るため、小中学校の屋内運動場やグラウンドを開放し、住民の体力の向上と地域の連帯性を高めるため、その管理運営を行う	158	144	△ 14	学校の授業に支障のない範囲で、学校体育施設を有効に活用し、本町のスポーツ振興に効果をあげている。 H21年度後半より自主管理方式に移行し、各利用団体から3名以内の管理指導員を選出し、管理業務を行っている。これにより、管理経費の縮減と施設に対する利用者の自覚を高めることができた。	B維持	
50	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2360-00	鵜川体育館管理運営事務	町民の心身の健全な育成と健康の保持、増進を図り、広く生活文化の向上に寄与するために設置されている鵜川町民体育館の管理運営を行う	5,152	12,251	7,099	町民体育館利用調整会議(夏季・冬期)を開催し、使用者団体の調整を行い、公平・効率的な利用に努めている。(補完施設として、中央小学校、宮戸小学校、鵜川中学校及び報徳館の屋内運動場を指定) 施設の設置(昭和48年)…老朽化と使用頻度も高く、施設の耐久力も極まり、改修の検討も必要となる。 H24耐震度調査実施	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
51	総合支所 教育振興室	2370-02	穂別スポーツセンター管理運営事務	町民の心身の健全な育成と健康の保持、増進を図り、広く生活文化の向上に寄与するために設置されている穂別スポーツセンターの管理運営	12,178	13,635	1,457	穂別地区の体育振興の中心施設として、各種スポーツ大会にも多数利用され、地域住民の交流の場ともなってきた。ただし、開設(昭和54年)から35年以上が経過しており、経年による劣化や損傷も散見され、抜本的な改修には多大な経費を必要とする。平成26年度には耐震改修工事を実施している。一方、利用者は減少傾向にあり、学校開放等の他施設を利用することで、現状のスポーツセンターの利用者を吸収できないか、関連する体育館施設等の活用や改修も視野に入れたスポーツセンターのあり方について検討する段階にあるものと考えられる。	B維持	
52	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2380-00	田浦野球場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進を図り、スポーツ文化の向上に寄与するために設置されている田浦野球場・田浦第2野球場の管理運営を行う	2,627	3,273	646	鶴川高校野球部をはじめ町内外の野球愛好団体等に広く活用されている。今後も施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。	B維持	
53	総合支所 教育振興室	2390-00	穂別野球場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進を図り、スポーツ文化の向上に寄与するために設置されている穂別野球場の管理運営	205	156	△ 49	野球チームが少なく利用者也減少傾向だが、野球少年団、中学校野球部、社会人チーム等が利用しており、不定期ではあるが野球大会にも利用されている。穂別地区における唯一の野球場として今後また、冬季は歩くスキーコースの練習場としても活用されている。	B維持	
54	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2400-00	ゲートボール場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進及び軽スポーツ交流を通して町民のふれあいの場として設置されているゲートボール場の管理運営を行う	4,091	4,453	362	ゲートボール愛好団や高齢者大学などのほか小中学生にも有効に活用されいる。今後も、適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
55	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2410-00	鶴川スケートセンター管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持及び体育・スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された鶴川スケートセンターの管理運営	5,723	5,876	153	冬のスポーツ施設として少年団活動や学校体育授業等に有効に活用されるとともに、夏季には、インラインスケートの使用を可能とした施設であり、日本代表として国際大会に出場する選手などの強化練習施設としても活用されている。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
56	総合支所 教育振興室	2420-00	穂別スケートリンク 管理運営事務	町民の心身の健全なる 育成と健康の保持及び 体育・スポーツ活動の普 及・振興を図るために設 置された穂別スケートリ ンクの管理運営	2,295	2,395	100	小学校体育授業が1校のみとなり少年団活動も休止状況のため利用者は減少傾向にあるが、現在は主に冬期間の子どもたちの運動の場、放課後・休日の遊び場として利用されている。平成26年度もスケート協会が主催でスケート教室・町民スケートまつりを開催し氷上レクレーションなどに取り組んでおり、盛時と比べて利用者は少ないものの、一定の利用は見込まれる。貸しスケート等を利用して気軽に利用する家族等も増えており、利用者減少傾向に歯止めがかかってきた。	B維持	
57	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2430-00	鶴川地区パーク ゴルフ場管理運 営事務	町民及び来町者の心 身の健全な発達及び体 育、スポーツ活動の普 及・振興を図るために設 置された鶴川運動公園 パークゴルフ場及びし しもパークゴルフ場の管 理運営を行う	4,283	4,406	123	中高齢者のスポーツとして定着し、利用率も高い。芝生の管理等適切に行いながら利用者の要望に対応する必要がある。	B維持	
58	総合支所 教育振興室	2440-00	穂別地区パーク ゴルフ場管理運 営事務	町民及び来町者の心 身の健全な発達及び体 育、スポーツ活動の普 及・振興を図るために設 置された穂別地区パーク ゴルフ場の管理運営	6,343	6,796	453	高齢者の健康維持と会社や自治会等団体の親睦交流スポーツに多く利用されている。最近では、若年層・町外者の利用が少なく利用者減少傾向にある。今後も適切な施設維持と快適に利用してもらう観点から、業務委託内容(管理体制など)を改善しながら運営していく。	B維持	
59	総合支所 教育振興室	2450-00	スキー場管理運 営事務	町民の冬季スポーツの 振興及び保健体育の普 及向上を図るために設 置されている穂別スキー 場の管理運営	2,814	2,819	5	小学生では少年団活動が多く利用し、中・高生ではスノーボード利用も多い。成人層は減少傾向。天候などにより利用の増減はあるが、町内唯一のスキー場として維持する。近年では施設の老朽化が目立つことから、順次必要な修繕を行いながら、長期的に使用できるよう維持管理していく。	B維持	
60	総合支所 教育振興室	2460-00	水泳プール管理 運営事務	町民の健康増進と体位 の向上を図るために設 置された穂別水泳プー ルの管理運営	3,989	4,216	227	穂別地区の唯一の水泳施設である。一般利用のほか、小中学校体育授業、放課後児童の遊び場等に利用されている。平成22年度にはプール槽及び鉄骨塗装の改修を行い施設の延命を図っている。夏期のみ開設であるものの、唯一のプールとして町民の需要はきわめて高い。屋根シートの劣化や機械設備の定期的な点検等を行いながら今後も大切に施設を維持していくことが求められる。	B維持	

平成26年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧(学校教育関係)

No.	区 分 担 当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決 算 額	比 較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
61	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2475-00	鵜川テニスコート 管理運営事務	町民の心身の健全な 発達と体育・スポーツ活 動の普及、振興を図るた めに設置されている鵜川 テニスコートの管理運営	112	104	△ 8	鵜川中学校改築に伴い、同校敷地内へ移設を行った。 テニス団体や愛好者において有効に活用されている。今後も適切な維持管理を行っていく 必要がある。	B維持	
62	総合支所 教育振興室	2480-00	穂別テニスコート 管理運営事務	町民の心身の健全な 発達と体育・スポーツ活 動の普及、振興を図るた めに設置されている穂別 テニスコートの管理運営	650	591	△ 59	テニス愛好者の減少により利用者が少ない。穂別地区唯一のテニスコートとして小規模な 修繕を行いながら継続運営していくこととしている。	B維持	